

支援事例 ケース3

相談者

神奈川県横浜市在住 30代 男性Aさん 無職 2011年3月から入居
50代 女性Bさん（同居者） 無職

【相談内容】

建築関係の仕事をしていたAさんは、勤務中に怪我をして失業してしまった相談者です。治療後、医師から事務系の就業を勧められて就職活動を始めましたが、就業先が見つからず、蓄えも無くなってしまったとのことでした。同居しているBさんも体調不良で失業してから就業先が見つからない為、お二人で管轄区役所に生活保護の相談をしたそうですが、過去にBさんが結婚した際に所有した不動産を理由に、断られた模様です。生活費の捻出も非常に厳しく、**今後の生活が不安でどうしたら良いか相談したい**との連絡を受けました。

【対応内容】

まず、生活保護の申請を断られた理由となっている「Bさんの不動産」について調査したところ、結婚当時Bさんは知名度の高い優良企業で就業していたそうで、ローン審査を円滑にする為にBさん名義でマンションを購入した模様でした。離婚後、購入マンションのローンは、現在居住しているBさんの前夫が支払う条件でBさんは転居しましたが、そのローンも長期に滞り、Bさんの前夫を交えて話し合いをした結果、その不動産は売却することになりました。その後、再度区の保護課に相談に行き、住宅手当（家賃の一部を給付する制度）と生活費等の貸付制度を利用することで纏まりました。

【入居者様の声】

以前に何度か生活保護の相談をしていましたが、その度に断られていたので、公的な支援は受けられないと確信していました。生活相談員の方からいろいろな提案をしてもらい、区役所にも同行してもらって、**今回このような支援を受けることができ、感謝しています。**体調は万全ではないのですが就業先も見つかったので、後はAさんの就職活動が上手く行って、就職先が見つかってほしいと思っています。また何か困ったことがあったら相談に乗ってください。ありがとうございました。